

令和6年度 学校運営協議会（第3回）議事録

1 日 時 令和7年2月21日（金） 14:15～15:20

2 場 所 本校 会議室

3 参加者 協議会委員：地域住民、学識経験者等5名

本校教職員：校長、教頭、事務長、首席、教務部主任、生徒指導主事

4 内 容

(1) 委員長挨拶

いつもこの美原高校の学校運営協議会では、先生方や子どもたちの頑張っている姿をアンケートの結果やお話などから伺える。中学校の方でも頑張らないといけないなど思っているところである。1年間様々なお話を聞かせていただいたが、本日は総まとめということでさまざまなお話を聞かせていただきたい。来年度の計画についても、お話いただけるということで楽しみにしている。

(2) 校長挨拶

インフルエンザやコロナが流行しており、出席がままならない生徒に関してはインフルエンザなどにかかり欠席が増え、進級ができないというようにならないか心配していたが、3年生は、無事全員卒業が決まったということで安心している。

2年生に関しても、来週水曜日26日から学年末考査があるが、今のところ頑張ってきている生徒に関しては全く問題ないかと思う。一方で今年から国からの通知があり、不登校に類する生徒

に関してはオンライン授業という形で対応し、出席とみなしている。試験は受けてもらい、進級判定を行うという形で先生方に取り組んでいただいている。

本日は今年度のさまざまな学校評価並びに各分掌から報告の方をさせていただく。来年度の計画に関してもお話しさせていただきたいと思っている。

(3) 議 事

◆ 令和6年度 学校経営計画及び学校評価（案）について

- ・ 学校教育自己診断の結果と分析について今年度の学校教育自己診断の結果は、昨年度と比べて生徒は全22項目中18項目で上昇した。保護者の結果では19項目の上昇が見られた。

先生方に関しては22項目中13項目で肯定度が上昇するなど、全般的にいい結果と受け止めている。

- ・ 学習指導等のところは、生徒は全部で9項目あるその内の8項目で、肯定度の上昇がみられた。中でも、「学校で勉強するのは大切」という項目に対する肯定度が91.4%だった。子どもたちに学校で勉強し、様々なことを学んで社会に出ていくことが役立つという意識が芽生えてきたのではないかと捉えている。
- ・ 保護者の方についても学習指導に関する4項目すべてで肯定度が上昇した。子どもを通じて授業における良い雰囲気を感じていただいていると受け止めている。
- ・ 教育センターのパッケージ支援というものがある。大阪府教育センターの指導主事が本校に来て、様々なアドバイスをいただいたり、授業改善に関する指導助言をいただいた。今年度は授業改善に1年間を通じて関わっていただいたということで、先生方の授業改善につながるなど、あらゆる面で肯定的な評価につながったというふうに捉えている。
- ・ 朝学習にも取り組んでおり、生徒、保護者にも肯定的に受け止めていただいた。
- ・ 生徒の、「先生は教え方を工夫している」という項目の肯定度は92.1%で、過去最高だった。パッケージ支援のもと、授業改善がかなり進んだことによって、生徒たちは授業をかなり肯定的に捉えてくれていると受け止めている。
- ・ 教職員の、評価についての話し合いの肯定度は13%減少している。昨年度は主体的な態度の評価、観点別学習状況の評価に関して、校内の教員研修などでお話いただいた。また、教育センタ

一から指導主事に来ていただいて、指導・助言をいただくなど、様々な機会を設けさせていただいた。

その結果、先生方が生徒たちの成績評価をどのようにしたらよいかなどの議論が進んだということで、昨年度はこの肯定度が 11.2%上がっていた。

今年度は授業改善にポイントを絞ってきたことから、こちらの項目がやや低下するというような結果になった。ただ授業改善も学習評価も表裏一体であることから、一つのものとしてきちんと取り組んでいかないと成果が出ない。来年度はそこも踏まえて授業改善をしっかりと進めていきたいと考えている。

- ・ 生徒指導等について、「悩みや相談に親身に応じてくれる」という項目の肯定度について生徒 83.6%、保護者 81.8%ということで、保護者に関しては 18.2%上昇した。日頃の先生方の成果が、子どもたちを通じて保護者の方にも伝わっていると受け止めている。
- ・ 教職員におけるいじめ対応や教育相談などの支援体制、カウンセリングマインドによる生徒指導に関して、先生方は一生懸命力を入れていただいており、肯定度が上昇した。
- ・ 学校行事への主体的な参加に関して、生徒は 85.7%という肯定度が出た。保護者に関しては、70.3%ということだった。生徒の肯定度に関しては微増ということだったが、保護者に関しては 7.1%と大きく上昇した。昨年度は 10 クラスに対し、今年度は学級数が 5 クラスに半減したことで文化祭をはじめ、体育大会も盛り上がり心配された。しかし、先生方の行事運営等の工夫をしていただき、また生徒たちもそれにしっかりと応えてくれるという状況ができた。それが好結果につながったと思う。
- ・ 部活動に関しては、やはり厳しい結果が出てきた。新入生が入ってこない状況であることから部活動は盛り上がりには欠けることとなった。生徒も部活動の方に目が向かないという状況で、このような結果が出てきてしまった。少し残念だがこの部分に関しては、ある程度致し方ないと受け止めている。
- ・ 学校運営のところ今年度の大きな目標として、保護者のホームページやマチコミメールの利用の肯定度を上げたいという目標を掲げた。実際にマチコミメールの登録者数を増やしたりホームページの更新回数をかなり増やしていただいた。しかしなかなか結果には結びつかなかった。少し残念なところはあるが来年度は最終年度になることから、本校生徒だけではなく、卒業生や地域の人々への発信もしっかりとやっていきたいと考えている。

- ・ 「校長は教育理念や学校運営の考え方を明らかにしている」という項目が、昨年は90%に近い数字をいただいた。今年は先生方が校長の意図を組んでやっていただいているということで校長が率先して学校を引っ張ることが少なかったことから、来年度は、その部分を次年度の計画の中に少し入れさせていただきたいと思う。
- ・ 今年度は授業改善PTを立ち上げた。府教育センターの指導主事の方からのアドバイスもあり、卒業までに生徒につけたい力をきちんと明確にした上で、各教科もどのような授業を展開していったらよいか、学校としてもどのような方向性で生徒にアプローチしたらよいかなど、きちんと明確化する方がいいという助言のもと、1年間取り組んでいただいた。

各教科の先生方に関しても、そのような目標に沿って授業展開についてをきちんとまとめていただき、それぞれについて生徒にも伝えた。またこれに準じたアンケートを4月と12月に行い、成果を見る形で取り組ませていただいた。そのような形で1年間取り組ませていただき、比較的学习に関するところは生徒、保護者、先生方からも良い評価をいただいているような状況になっている。

- ・ 教員のICT活用度については今年度100%だった。
- ・ 府教育センターのパッケージ支援のもと、授業改善PTを中心に全教員が1年間を通じて授業改善、授業力の向上に取り組むことができた。教員研修については出席率が非常に高い。授業改善について議論、情報共有し、それぞれの教科に持ち帰り活かしていただけた。

その結果、教員の学校教育自己診断、主体的対話的な学習指導の実施度が95.2%となった。

- ・ 進路について、保護者の立場から考えると進学について子どもの情報だけではなかなか不安である。しっかりと納得して子どもと相談して決めていきたいという話も多くあった。そのようなこともあり、初めて2年生の保護者の方にも大きく分けて2回保護者向けの説明会を行った。

また奨学金に関する説明会も行った。

- ・ 学校教育自己診断の保護者の適切な進路指導への肯定度は81.6%ということで、これも初めて80%を超えて大きく上昇した。
- ・ 生徒一人ひとりあたりの年間平均遅刻回数については本校目標として1.7回の目標を掲げているが、ここ2,3年生ともに目標を達成することができていない。大きな原因としては、様々な課題を抱えた生徒がおり、ただ遅刻が多いから指導するというものではなく、個々の状況に合わせて遅刻してでも学校に来ることを促していたことによる。そういった配慮を要する生徒を除くと平均遅刻回数は1.2ということで大きく下回る。

- 学校としても、遅刻が多いから進級できないではなく、来られるときは学校に来て学習し、また休んでいた時の課題などをするというサポートをしている。
- ホームページやメールの利用度について目標が70%であるが、保護者の利用度は61.7%ということで、目標には届かなかった。
- 今年度、総合的な探究の時間で、自然災害に対する防災、減災について取り組んできた。防災センターや、美原区役所の方に来ていただいて様々な災害の時の注意事項や問題・課題などをしっかりとレクチャーしていただいた。その上で子どもたちが与えられた課題、例えば災害が起こって3日間72時間どのように生き延びたらいいか、実際に避難所を運営していく上でどのような課題があるかなどについて。それぞれ希望する班に分かれ探究活動を通して発表するというところを行った。発表会には美原区長さん、防災センターの方、美原区の政策会議のメンバーの方々も来られた。また、生徒たちも堂々と発表しており、ご講評もいただいた。素晴らしい発表会となった。
- 仕事の平準化や時間外労働に関して極端に偏らないように気を付けている。時間外労働時間は少ないということで仕事をうまく回していただいているように思う。

□ 委員からの意見

- 不登校にならないように遅刻してでも登校して来る子もいるのでその対応をしてくださっている。それを遅刻の回数として数えるのはどうかとも思う。配慮を要する生徒を除いた場合、1.2回となっているので、達成されているのではないかと思う。

→ 何年前前から同じ形で目標設定を行っている。今年度初めて配慮を要する生徒を除いた場合というのを入れたものになっている。

やはり社会に出た時に少しでも頑張るためには遅刻もできるだけなくしてほしい部分もある。学校としてはこの方向でご理解いただきたいと思う。

- マチコミメールの利用度、メールの登録数が上がらない。

これはどういうふう考えているか？

→ マチコミメールは何かあればすぐに送っていただいている。保護者の方々の意識はそれを頻繁に利用しているというところまでは至っていないと考えている。

◆ 令和7年度学校経営計画及び学校評価（案）について

- ・ 今年度は図書館を学校での学びのセンターとして位置付け、調べ学習や自学自習の場として利活用の推進を図る中核として図書館にかなり力を入れてやっていただいた。

来年度は閉校ということもあり、本の整理をはじめ図書館の様々な業務が増えることが予想される。そのため通常の業務に追加で何か行うのは難しいため変更させていただいた。

- ・ 一人一台端末や電子黒板プロジェクター等の ICT 機器を活用し、個別最適な学びや協働の学びを充実させることで基礎学力の育成向上を図っている。

主体的で対話的な学習活動などでも端末などをしっかりと利用してほしい。

学びを深め、将来社会に出たときに活用できるような力をつけてほしいなという思いでこちらの方を入れさせていただいた。

ICT をうまく活用することによって個別最適な学びを充実させたい。中でも学校に登校できない生徒に関しては、オンライン授業での保証を踏まえ、入れさせていただいている。

- ・ 多様な進路に対応するため、就職指導、進学指導、キャリア支援等の取り組みを充実させると入れさせていただいた。

- ・ 地域行事に積極的に参画し、社会への帰属意識を向上させるという部分は削除している。

探究の時間で少しでも地域と連携をして地域に貢献できる人材というのを育成していきたいと考えている。

- ・ 昨年度は校内ネットワークを含めた ICT の活用による業務の効率化及び情報の共有化を推進するというのを念頭に書いていた。しかし教職員の減少に伴い、職員室での情報共有が簡単にできるようになったためこの部分を削除し、新たに教職員が共に助け合う働きやすい職場環境を作るという内容に差し替えさせていただいた。

- ・ 今年度、学校教育自己診断の教員の主体的対話的な学習指導の実施における肯定度が 95%だった。来年度は全員実施をめざす。

- ・ 生徒の授業でわからないことは、質問できるの項目の肯定度を 75%以上にする。今年度は 70%だった。来年度も少人数授業が多くなりそうなので先生と生徒のコミュニケーションをしっかりとって授業を進めてほしい。

- ・ 4年生大学の希望者の現役合格率は、現段階で85.7%である。来年度は90%以上にする。可能な限り100%にしたい。
- ・ 学校に行くのは楽しいの項目の肯定度は現在74%である。来年度は最終年度ということもあり、少しでも笑顔で終われるように取り組んでいきたいと思っている。
- ・ 中退する生徒をゼロにする。最終年度一人の生徒も残すことなく全員が卒業し、進路も決めてほしい。「本当に美原に来てよかった」と思える学校にしていきたい。
- ・ 時間外勤務に関して平均は低く抑えられているが個人差がある。時間外、在校等時間が45時間以上の先生が今年は延べ8名いた。
- ・ 教育活動について話し合っている項目の肯定度を高くするという目標設定をしている。日頃から様々なコミュニケーションを取っていただける環境をつくっていただきたいという思いを込めている。

□ 委員からの意見

- ・ 目標設定が少し高いので、無理のない範囲でしていただきたい。
- 本校は先生方が頑張っていたので比較的丸、二重丸が多い。
自分を引き締める意味でも少し高めに設定している。

◆ 令和6年年度学校教育自己診断の結果と考察と自由記述に対する回答について

- ・ アンケートの回答数に関しては、今年は久しぶりに生徒の回答率が100%になった。
保護者の回答率88.6%ということでおおむね例年通りという結果になっている。
- ・ 全体的な数字としては今年度は肯定率83.4%ということで、過去5年間では一番高い数字となった。昨年度と比べても22項目中18項目が上昇している。90%を超えているものが8項目出てきている。
- ・ 保護者分については昨年度、少し低かったが、今年はその数字を取り戻した。
特に、11番の項目や13番の項目では大幅に上昇しており、保護者説明会や懇談や普段のきめ細かい保護者連絡などが成果に結びついたと考えられる。

- ・ 17 番、19 番の学校行事に関するところも上昇しており、生徒数が減少していく中でも、体育大会や文化祭のところでやり方の工夫をした結果がこちらに現れていると思う。
- ・ 8 番と 9 番の項目のところでは令和 6 年は 100%を達成することができている。

□委員からの意見

- ・ 授業が分かりやすいという項目が 83.6%ある。保護者の、子どもは授業が分かりやすいと言っている、というのが 47%だった。それはどのように分析をされているか。
- 生徒のアンケートの回答と保護者への話のどちらが本音か測りかねる。年齢が上がってくるにつれてなかなか学校のことを保護者へ話さなくなっているかもしれない。授業は手厚く、生徒は生き生きと授業に取り組んでいると捉えている。
- ・ 令和 6 年度の授業アンケートの年度別の比較のデータについては、第 1 回と第 2 回の平均値を前年度令和 5 年度と比較する 9 項目中上昇したものが 7 項目となっている。
- 授業に対する生徒の取組みに関する質問について高くなっている。
- ・ 授業に関する生徒の意識のところは例年低い。今年度 3.34 と 3.36 あるが相対的に見て低めという結果だった。今後も生徒に興味関心を持ってもらうとともに、知識や技術が身についたと感じさせる授業を行っていく必要があるかと思う。
 - ・ 先生はテストだけではなく日々の学習を評価してくれているという質問は、昨年度に引き続き上昇している。
 - ・ 令和 6 年度の授業アンケートの教科別の比較データについても、全体的に平均 3.5 前後の高い値となっている。1 回目と比較して 2 回目が下降する傾向があるが、今回は下降しているものは多くはなく、むしろ上がっているものもある。
 - ・ 2 年生においては、観点 8、観点 9 は、第 1 回と比較すると上昇している。今年度行った授業改善のテーマであるコミュニケーションを通して自己を分析する力、表現する力、課題発見解決能力を身につける授業と、そういったものの成果が現れていると考えている。

□委員からの意見

- ・ すごく数値で見ておられていて、中学校でここまで各教科の数値がこれだというように出すと、誰か特定されてしまう。

ただ、この数値や結果を踏まえて客観的に分析されて目標設定されているところはとても良いと思った。何か中学校の方もでも参考にできたらと思う。

- 本校でも一人で担当しているという教科がかなり多くなっているのので、数値が出ると誰か特定されやすくなっている。事前に明らかにしてもよいか確認している。どの教科も協力的で、許可をいただいた上で載せている状況である。

◆各分掌より

○学校保健委員会資料

- ・ 全国と大阪府との比較は、男子の身長に関しては大阪府全国と比較すると2学年とも少し下回っている。
- ・ 体重に関しても男子の方は下回っており、女子に関しても身長は大阪府全国と比較すると2学年とも下回っている。
- ・ 体重に関しては大阪府全国と比較すると2年生は下回って3年生は上回っている。
- ・ 視力検査の結果は、全国と比較すると裸眼の1.0以上は下回っており、0.7から0.9、0.3から0.6と0.3未満は上回っている。
- ・ 全国的に視力に関して低下が進んでいるような状況がある。

本校も全体的に少し良くない傾向にはある。様々な端末なども導入されたり、利用することが多くなってきているので、そういったことも影響しているのかと思う。

- ・ う歯のない処置完了者の割合は高くなっており、全国と同傾向である。

未処置の者に対する指導に関しては、早々に病院に行かないといけないような、状態が良くない生徒もいる。

- ・ 毎月昼休みに学校歯科医に来ていただいており、先生に直接指導いただいているというような状態。

- ・ 眼科検診、耳鼻科検診、についても大阪府の府立高校で実施することになり、先生方もすごく丁寧に見ていただいております、良い結果となっている。
- ・ 学校において予防すべき感染症の状態について。インフルエンザは昨年度と比べると多くない。例えば12月でいうと10名、1月でいうと3名というような状況。新型コロナウイルスも落ち着いてきているようだ。
- ・ 保健室の来室率は上がっている。
- ・ 保健室の来室時間帯としては昼休み1限の休み時間、2限の休み時間、3限の休み時間に多い。
- ・ 内科の症状は頭痛や風邪、気分が悪いというような状況。外科ではすり傷や打撲での来室が多い。

○ 第3学年 進路状況（1月末）

- ・ 今年度の3年生の1月末の時点での進路状況であるが、大学・短大の進学と専門学校進学と就職の割合が今年度も1対1対1であった。進学先の傾向としては、コンピューター系の進学を希望する生徒が多かった。
- ・ 就職を見据えた進学を望んだ生徒が多かった。
- ・ 就職の今年度の傾向としては、生産職が例年に比べ少なかった。
- ・ 生徒数も少ないので手厚く、進学や就職について支援のサポートができたのではないかと思います。

○令和6年度生活指導上の統計

- ・ 出席状況は、遅刻数等が目標達成できなかった。
- ・ 299件のうちで約半数ほどが不登校の傾向がみられる生徒によるもの。単純な寝坊や、準備が遅いという遅刻は減った。
- ・ 朝学が始まったことによって、5分前には教室で着席しておこう、というような形で今年度始まっている。予鈴が鳴ってから走って上がるというような状況が今年度1年続いた。ギリギリで遅刻する生徒がかなり減ったというような印象がある。
- ・ 不登校に起因する遅刻に関しては、SCやSSWと連携している。

- ・ 例年4月の初めよりクラスに入りにくいという生徒がいるので、年度の最初に人間関係トレーニングでクラス開きの時間をしっかりとってやってほしいという要望を挙げている。最後の1学年なので最初のスタートがうまく行ってほしいと思っている。
 - ・ 携帯電話指導について件数が上がっている。毎年、SNSトラブルが起きている、近隣校でもいわゆる Discord や BeReal などのアプリが非常に出回っておりトラブルになっている。
- 今後も様々なアプリが出てくるので、教員側も知識を入れて対応していかないといけないと思っている。
- ・ 懲戒指導となる生徒数はかなり減少しているが、懲戒件数については大幅な減少はない。細かいトラブルがかなり多くなってきている。
 - ・ 人間関係のところで悩みを感じている子が非常に多い。最初のクラス開きのところに少し時間をかけて、1年間スムーズに学校生活を送れるようにしていきたい。
 - ・ 0か100の指導ではなく、細かな指導を入れられるように変更しながらアップロードしていきたい。

□委員からの意見

- ・ 卒業式であと1学年になってしまう。
- 少人数になってもすごく先生方に努力していただいております、非常に良い評価を出されているというのは尊敬できる。
- ただ残り1学年になっても来てよかったなと思えるような環境づくりをもう1年頑張ってください、達成していただけるとありがたい。
- ・ 単に授業だけでなく、生活指導関係や災害の対策、さまざまな家庭の状況を抱えている生徒さんがいる。また、サポートしようと思うと先生方も健康でなければサポートできないので頑張ってくださいと思う。
 - ・ これからの1日1日が思い出となっていく。
 - ・ 今の状況で頑張って全員が無事に卒業できるようにしていただきたい。
 - ・ 先生の思いが伝わって、子どもたちにも大切にされていると感じている。

◆閉会挨拶

閉校は本当に寂しい限りである。ただ生徒たち、先生方を見ていて、終わりを迎えるにあたって一生懸命頑張ってくれている。このまま良い形で進んでいってほしいと思っている。

来年度についてもどうするかというも考えているところであるが、生徒たちも最後美原高校の生徒だったというところを、地域に戻っても胸を張って言えるよう取り組んでいきたいと思っている。